

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2020年 2月 12日

23家庭アンケート配布のうち 22家庭回答  
★たくさんのご協力ありがとうございました。

事業所名：児童発達支援事業所のびのびりいふ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・フロアでスペースも限られているので必要なものを場面にに応じて出し入れするなどの工夫をしております。	【はい】18【どちらともいえない】2【いいえ】1 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】・スペースは小さいですが公園に連れていってくれています。	・ご意見ありがとうございます。 ・スペースを広げることは限界がありますので、広さだけでなく縦の空間(高さ)なども活用しながら、子ども達がのびのびと過ごせるような環境構成に努めていきたいと思っております。
	2 職員の適切な配置	・午前中は戸外活動など安全面への配慮が特に必要となりますので、お子様2人に対して1人以上の職員を確保し、戸外活動の時は必ず手をつないで移動できるように職員配置を行っております。午後は室内での個別療育がメインとなりますので、お子様3人に1人以上の職員の配置となっております。	【はい】22【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございます。 ・限られた人員の中ですが、全職員がお子様一人ひとりの心に寄り添えるよう関わりを今後もしっかりと行っていきたく思います。 ・また、午後も個別療育と並行しておもちゃを中心とした好きな遊びの時間となっておりますので、子ども同士の関わりの中を今以上にしっかりと行っていけるよう、もう少し職員の人員の確保をしていく事を目標としております。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思っております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・玄関のドアはスライドドアになっております。 ・トイレは幼児用の便器を設置し、お子様が自分でトイレに行くことができるようになる自立支援の手立てとしております。 ・手洗い(洗面台)も子ども用の高さに調整し、踏み台などを使わず自分で手洗いができるようにしており、落下等の事故防止にもなっております。 ・お子様一人ひとりに個人のマークを用意し、靴箱やロッカーなどにマークを貼り、自分の物を自分の場所に片づける習慣がつくように支援しております。 ・一日の流れを写真で提示するなどお子様が自分で見て理解できる視覚支援を環境構成の中	【はい】21【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございます。 ・視覚支援に関しては今後も職員で勉強を重ね、より良いものをご提供できるよう努めていきたいと思っております。 ・ご家族に事業所への活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思っております。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・フロア全体・事業所内部の掃除消毒、整理整頓はこまめに行っております。事業所前の外側の清掃も気をつけてこまめに行うようにしております。 ・加湿器、空気清浄機、次亜塩素酸生成機(ジアイノ)などを設置し、室内全体の除菌を行い、感染症拡大の予防に努めております。 ・生活の場面を分けたり、遊びをコーナーに分けて空間を整理して落ち着いて過ごせるようにしたり、食事場面や絵の具遊びなどではマットを敷いて汚れを予防する工夫をしております。	【はい】20【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございます。 ・お子様が清潔な環境の中で元気に過ごせるために必要なものは、今後もしっかりと取り入れていきたいと思っております。また、全職員が衛生面への知識をしっかりと身につけていけるよう内部研修の実施や外部研修へも積極的に参加していきます。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思っております。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・PDCAサイクルを少しずつ意識し、スタッフ間の話し合いを行うようにしております。		・業務改善を進めるためにPDCAサイクルを意識した管理者と現場職員の話し合いを引き続き積極的に行っていきたく思います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・特に第三者による外部評価は行っておりません。		・第三者評価も今後は取り入れていけるよう地域の関係機関などとのつながりを作っていくことを目標としていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・職員会議と職員研修をサービス提供時間終了後に月に1度ずつ(計月2回)実施しております。また、外部研修もスタッフが順番でできるだけ参加しております。		・外部研修においては、現在、案内があったもののみに参加しておりますが、自分たちで探したり開拓していき、研修参加の回数を増やしていきたいと思っております。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・ご利用開始前に保護者の方と面接をさせていただき、お子様の様子や発達の状態、ニーズなどの聞き取りを行い、それを元にアセスメントを作成し、個別支援計画の作成へとつなげております。	【はい】22【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございます。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・アセスメントを元に集団療育の中で行う支援、個別療育の中で行う支援をそれぞれ考え、必要な目標を立てるようにしております。		・ご回答ありがとうございます。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・アセスメントを元に『発達支援』『家族支援』『地域連携』と項目を分け、できるだけ具体的な支援目標を立てております。		・ご回答ありがとうございます。 ・今後もお子さま一人ひとりの姿に寄り添える支援計画の作成に努めてまいります。
4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・ご家族に了承いただいた個別支援計画を全職員で周知し、連携を取りながら日々の療育を行っております。	【はい】21【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございます。 ・お子様の発達に寄り添える支援者となれるよう、職員それぞれが知識と経験を深めていく事に努めていきたいと思っております。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作っていきたいと思っております。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・管理者と現場スタッフで意見を出し合い、できるだけスタッフ全員で参加考える体制を整えながら活動プログラムを考えております。	【はい】22【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】・様々なプログラムでいろいろな経験ができており、ありがたいです。	・ご意見ありがとうございます。 ・行事の係担当や月のプログラムの構成など役割分担をしながら全職員がプログラム構成に参加していく体制を整えつつあります。引き続き、スタッフ間の連携体制を整えて向上してまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日の利用対象のお子様と土曜日の利用対象のお子様では、年齢層や他施設との併用の有無などの状況の違いがありますので、活動の流れの基本は同じスタイルですが、利用対象のお子様の集団(グループ)のタイプなどに合わせて細かな環境構成や提供するプログラムは変更しております。		・ご意見ありがとうございました。 ・今後もお子さま一人ひとりのねがいに寄り添えるようなプログラムの構成に努めてまいります。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子やスタッフの関わりを見ていただける機会を作りたいと思います。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・スライムなどの感覚的な遊び、リズムや楽器遊びなど音楽に親しむ遊び、感覚統合につながる運動遊び、公園や散歩など戸外活動の4つの遊びをメインに考え、毎日日替わりで集団療育を構成しております。 ・季節感を味わえるような行事や工作を毎月取り入れ、夏場は水遊び、季節の良い時期をメインとした園外保育(お子さまのみ参加)を行っております。		・ご意見ありがとうございました。 ・お子様の成長に彩りを添えていけるよう、季節感のあるプログラムやお子様の成長発達に応じたプログラム構成に今後も務めてまいります。 ・ご家族に事業所の活動への参加(参観や体験保育)を呼びかけ、広く活動の様子や職員の関わりを見ていただける機会を作りたいと思います。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・朝8時に朝礼を行っておりますが、スタッフ一人ひとり時差出勤や勤務日数の違いがありますので、伝達事項の補足はスタッフ間の連絡ノート(2種類(業務連絡用、子ども達の様子の伝達用)用意し、そのノートで補っております。		・スタッフ全員が些細なことでも記録する習慣をつけることで職員間の連携の向上に努めてまいります。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・スタッフ一人ひとり時差出勤や勤務日数の違いがありますので、伝達事項の補足はスタッフ間の連絡ノート(2種類(業務連絡用、子ども達の様子の伝達用)用意し、そのノートで補っております。伝達事項の補足はスタッフ間の連絡		・スタッフ全員が些細なことでも記録する習慣をつけることで職員間の連携の向上に努めてまいります。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・お子さま一人一人の日の様子を個別で記録しております。 ・午後から行う個別療育の記録も日々行い、継続した個別支援ができるようにしております。 ・月2回実施の会議と研修の中で必要に応じてケース検討会議も行ってまいります。		・今後も記録をしっかりと行いながら、必要に応じて記録する書類の種類や形態の改善を図っていきたくて思っております。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・最長でも6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行っております。 ・通常、月2回の会議と研修の中でモニタリングを行います。全職員の意見が反映できるよう『モニタリング前調査』を職員に対し行い、モニタ		・お子様一人ひとりに合わせた個別支援計画作成の為、今後もモニタリングはしっかりと行っていきたくて思っております。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・現在、相談支援事業所をご利用の方を対象に、定期的に担当者会議へ管理者が出席し、各関係機関との連携を図っております。		・今後も必要なケースや機会等がありましたら、積極的に参加していきたくて思っております。(相談事業所の利用家庭が増えると支援の輪がより広がるように感じる部分も実際に連携させたいと考えております)
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	・書面で支援の内容やお子様の成長の様子を新しい進路先へお渡しさせていただいております。 ・ご家族のご了承のもとで、必要な場合は電話		・進路先へ書面だけでなく訪問や電話での連携を積極的に行っていきたくて思っております。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・児童発達支援のみ事業所です。現在のところそのような対象ケースはございません。		・対象のケースがあった場合は、積極的に連携を図りたいと思っております。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・ご家族のご了承のもとで、療育センターをはじめ地域の専門機関との連携は図らせていただいております。 ・専門機関での研修も、ご案内頂けた研修に対しては可能な限り参加しております。		・今後も地域の専門機関など関係機関との連携は積極的に行っていきたくて思っております。 ・職員のスキルアップの為、研修への積極的な参加は今後も行っていきたくて思っております。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現時点では、そのような交流活動は行っていません。	【はい】7【どちらともいえない】2【いいえ】4 【わからない】9【無回答】0 【ご意見】・現在、あまり必要性がないのかなあと感じています。	・ご意見ありがとうございました。 ・地域とのつながりを広げていき、今後、交流が持てるように考えていきたくて思っています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に関わった事業の運営	・現時点では、そのような交流活動は行っていません。	【はい】7【どちらともいえない】2【いいえ】4 【わからない】9【無回答】0 【ご意見】	・ご回答ありがとうございました。 ・地域とのつながりを広げていき、今後、交流が持てるように考えていきたくて思っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずはご利用前に、お子様とご家族と一緒に活動を体験していただき、その際に、のびのびりふの活動内容など簡単なご紹介をさせていただいております。</li> <li>ご利用を希望されました方には、後日、面接をさせていただき、その際に持ち物や詳細などご利用案内をさせていただいております。</li> <li>個別支援計画を作成した上でご契約の日を設け、その際に重要事項説明書をお見せしながら利用負担などについてのご説明をさせていただいております。</li> <li>ご利用後に負担内容の変更など重要事項に変更があった場合は、その都度、個別で説明させていただき、その上で同意書を頂いております。</li> </ul>	<p>【はい】22【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>皆様に安心してご利用していただくため、説明が不十分にならないよう丁寧な説明を心掛けていきたいと思っております。</li> </ul>
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>最長でも6ヶ月ごとに個別支援計画の見直しを行っております。</li> <li>ご家族にお越しいただく形となっておりますが、個別支援計画見直しの際は、お子様の成長の様子を記録した『育成経過』をその都度お渡しさせていただき、ご家族と振り返り・見直しをおこなう面談を行い、新しいニーズをお聞かせ頂いた上で新しい個別支援計画を作成し、再度、日を設けての面談で個別支援計画の説明とご了承をいただいております。</li> </ul>	<p>【はい】22【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>ご家族には、日々のお忙しい中、短期間での面談を2回も設定させていただき、ご迷惑をおかけしている部分もあるかと思えます。いつもありがとうございます。お子様のより良い支援の為、今後もご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。</li> </ul>
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアレントトレーニングをご家族に行うには職員にも技術や知識の準備が必要となりますので、現段階では、こちらでは実施できておりません。</li> <li>送迎や面談の際に、できる範囲で子育てのご相談はさせていただいております。</li> </ul>	<p>【はい】15【どちらともいえない】2【いいえ】1 【わからない】4【無回答】0 【ご意見】・親に対してのアドバイスはあり助かっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見ありがとうございました。</li> <li>【のびのびりふの目的】にもある『ご家族のよりよい関係づくりのサポート』を行うためにも、今後スタッフのスキルアップを図り、ご家族への支援の拡充を行ってまいりたいと思っております。</li> </ul>
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段は、送迎の際に日中のお子様の様子などを送迎スタッフがお伝えさせていただいております。半年に一度の定期的な面談と必要に応じての臨時的な面談を行い、そこで発達の状態や課題についてはお伝えさせていただいております。</li> </ul>	<p>【はい】21【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>もってご家族と一緒にお子様の成長を共有し、一緒に子育てをしていくことができるよう、管理者からの電話フォローを増やし、ご家族の声をお聞きしていきたいと思っております。</li> </ul>
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の送迎では、なかなかゆつくりとご家族とお話ができていない状態です。たくさんお話ができてご家族とお話しできる機会が少ないご家族との差を実感している現状です。</li> </ul>	<p>【はい】21【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>管理者からの電話フォローを増やし、そこらご家族とゆつくりお話しできる面談へとつなげてご家族のご相談にもっと対応できるよう努めてまいりたいと思っております。</li> </ul>
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点では保護者会などの発足はしておりません。秋の親子遠足にご参加いただけたご家族には、少しですがご家族同士の交流を持つ時間を設けさせていただきました。</li> <li>クリスマス会やうらんどう会では、なかなかゆつくりと交流していただく時間が作れておりません。</li> </ul>	<p>【はい】10【どちらともいえない】4【いいえ】4 【わからない】4【無回答】0 【ご意見】・保護者同士が会う機会は少ないかなと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見ありがとうございました。</li> <li>ご家族間の交流も子育ての中には必要なものであると考えております。今後、職員で話し合いながらご家族同士の交流の機会を設けられるよう検討していきたいと思っております。(クリスマス会やうらんどう会は、ぜひ親子でイベントを楽しんでいただければと思います。)</li> </ul>
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情対応についてのマニュアルは作成しております。</li> </ul>	<p>【はい】13【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】8【無回答】0 【ご意見】・苦情を出したことがないので分からず、他の保護者の声も聞かないです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見ありがとうございました。ご家族のニーズ、ねがいはできる限りの誠実な対応を目指していきたいと思っております。</li> </ul>
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の事であれば、送迎や連絡帳、電話での対応をさせていただいております。</li> <li>次の進路のことなど面談を中心として一緒に考えさせていただいております。</li> <li>親子行事開催の後は、アンケートを配布させていただき、ご家族のご意見を聞く場を設けておいております。</li> </ul>	<p>【はい】22【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>地域の情報や進路の話、保護者向けの研修、勉強会のご案内をもっと積極的に発信していけるようなネットワークづくりを工夫していきたいと思っております。</li> </ul>
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の日程や詳細など必要に応じて臨時で書面のご案内をしております。</li> <li>2019年4月より月一回『のびのびさんだより』というおたよりを発行し、情報発信させていただいております。</li> </ul>	<p>【はい】22【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】0【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>『のびのびさんだより』を活用し、今後も様々な情報発信ができるよう努めてまいります。</li> </ul>
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用契約を行う際に、個人情報につきましては書面と口頭でお話しさせていただいております。たくさんのご家族が集まる親子行事の際は、必ずインターネットに関する注意をしっかりとさせていただきます。</li> </ul>	<p>【はい】21【どちらともいえない】1【いいえ】0 【わからない】1【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>お子様の大事な情報になりますので今後も細心の注意を払って対応していきたいと思っております。</li> </ul>
非常時等の	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用契約時に緊急対応時のお話と感染症対応のお話はご家族の方にさせていただいております。</li> <li>防犯につきましてはのご案内は、保護者の方にはさせていただいております。</li> <li>全ての項目、職員にはマニュアルとして周知し</li> </ul>	<p>【はい】19【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】3【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>今後は、ご家族に対する防犯対応のお話をさせていただくためのマニュアルを作成していきたいと思っております。</li> </ul>
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年9月にお子様をお預かりしている時間帯に避難訓練をおこなうようになっております。</li> <li>利用契約時に災害時の避難場所につきましてはご説明させていただいております。</li> </ul>	<p>【はい】13【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】9【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご回答ありがとうございました。</li> <li>災害時にご家族のご不安が少しでも軽減されるよう、定期的に避難場所の確認をご家族に対しても行っていくとともに、避難訓練の様子もお伝えしていきたいと思っております。</li> </ul>
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月虐待防止チェックリストを職員に実施しております。</li> <li>虐待防止研修を年一回、職員間で行っております。</li> <li>外部実施の虐待対応研修も職員が順番に参加</li> </ul>	<p>【はい】13【どちらともいえない】0【いいえ】0 【わからない】9【無回答】0 【ご意見】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も虐待対応力を職員が身につけていけるよう、積極的に内部研修を行い、外部研修への参加もしていきたいと思っております。</li> </ul>

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
対応	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・やむを得ず身体拘束をおこなう場合の対応を職員間で周知しておりますと同時に、万が一その状態が起こった時の記録用紙も準備しております。 利用開始時にご家族の方へ説明させていただきます。		・個別支援計画の中にもしっかりと記載していきたいと思っております。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用前の面接時でアレルギーに関しては丁寧に聞き取りをさせていただいております。 ・現時点では、アナフィラキシーショックなど重篤なアレルギー反応のおよ様のケースがございます。 ・アレルギーの発生への対応はしております。		・対象のケースがあった場合は、しっかりと対応させていただきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット報告書の様式を改め、簡素化することによりスタッフが些細なことでも記録し、全スタッフが周知していく事で環境構成の改善やスタッフの対応力の向上へとつなげる取り組みを行いました。		・簡素化することにより記録する数が大幅に増えました。些細な『ヒヤリ』『ハッと』に気づき、どのように対応するのか見通しを持つ力、それを全スタッフが周知し、支援への姿勢の改善となるよう努めてまいります。